

地租改正

新政府は、江戸幕府の財政基盤を受け継いだ。この基盤は現物納、特に年貢（米）を中心としていた。豊凶・米価の影響を受け、近代国家には心許なかった。まず新政府は、領主のもとでの形式的な土地所有を解体し、税負担者を土地所有者と決めた。次に、地租改正を断行し、金納の地価を新たな税と定めた。

○地租改正

●新政府の不安定な財政

新政府の主な財源は、幕府から受け継いだ年貢収入であった。

⇒従って、財政は次の2点で不安定であった。

- ①四公六民・五公五民など、地域ごとに税率が不統一
- ②豊凶による増減や米価の変動で、次年度予算が不透明

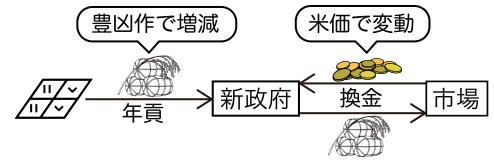


図1 不安定な財源

●財政の安定化

<所有権・納税者の明確化>

1871年、⁽¹⁾ _____ 許可

…田畑で桑などの商品作物を自由につくることが許可

1872年、⁽²⁾ _____ 解禁（廃止）

…土地売買を認め、年貢負担者（地主・自作農）を土地所有者として、その所有証書⁽³⁾ _____（壬申地券）を発行

…封建的領有制（領主の土地一括支配、農民の私的土地所有禁止）を解体

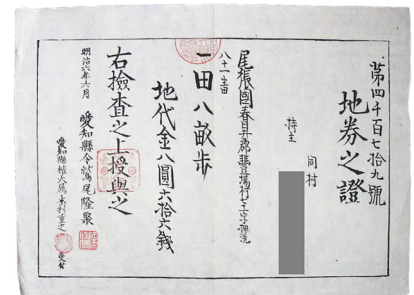


図2 壬申地券

<税制度の改革>

1873年、税制度の改革⁽⁴⁾ _____を開始し、年貢を廃止した。

→1873年、⁽⁵⁾ _____公布

…①課税の基準を石高から⁽⁶⁾ _____に変更

…②現物納を金納に改め、⁽⁶⁾ の⁽⁷⁾ _____%を新たな税⁽⁸⁾ _____と設定

…③納税者は、地券の所有者

…④公布と同時に、以前の地券に代えて、⁽⁶⁾ の記載された改正地券を発行

⇒結果、豊凶作に関係なく、新政府には一律一定の収入が保証された。

◇⁽⁶⁾ …田畑面積・収穫量などを基に決定した土地の価格

1877年に税率が2.5%になり、地租が2つ書いてある。

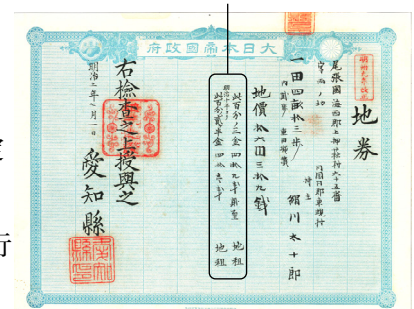


図3 改正地券

⁽⁴⁾ は、従来の年貢収入額を減らさない方針で実施された。

→また、⁽⁹⁾ _____のうちで所有権を立証できないものは、官有地化された。

→各地の農民は、負担軽減を求めて⁽¹⁰⁾ _____を起こした。

⇒結果、1877年に税率を⁽⁶⁾ の⁽¹¹⁾ _____%に引き下げた。

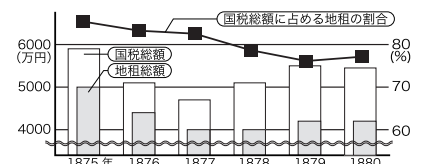


図4 国税総額に占める地租

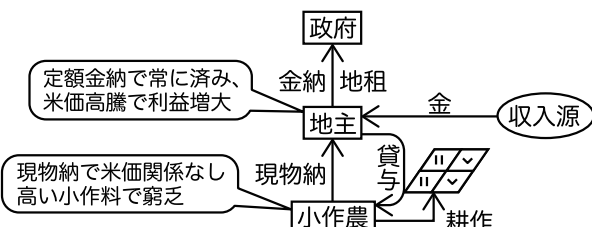


図5 地租改正後の地主と小作農

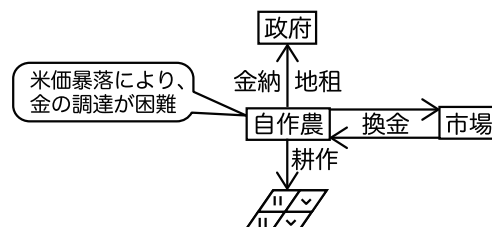


図6 地租改正後の自作農